

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 子どもの可能性を伸ばす教育の充実  
 基本事業 教育内容の充実

事業名 **江別市教育研究所事業**

[0397]

|    |               |        |      |          |      |
|----|---------------|--------|------|----------|------|
| 部名 | 教育部           | 事業開始年度 | - 年度 | 実施計画事業認定 | 非対象  |
| 課名 | 学校教育支援室 学校教育課 | 事業終了年度 | - 年度 | 会計区分     | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 |   |
|------------|---|
| 対象         | (誰、何に対して事業を行うのか)<br>江別市教育研究所  |
| 意図         | (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)<br>学力向上プランの作成や児童生徒意識調査の実施など、教育に関する調査・研究を、江別市の教育に生かす。 |
| 手段         | (事務事業の内容、やり方、手段)<br>教育研究所の運営を行う   |

| 事業量・コスト指標の推移          |          |           |              |              |              |              |
|-----------------------|----------|-----------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 区分                    |          | 単位        | 21年度実績       | 22年度実績       | 23年度実績       | 24年度当初       |
| 対象指標1                 | 研究所数     | 箇所        | 1            | 1            | 1            | 1            |
| 対象指標2                 |          |           |              |              |              |              |
| 活動指標1                 | 研修会等開催回数 | 回         | 1            | 2            | 3            | 2            |
| 活動指標2                 |          |           |              |              |              |              |
| 成果指標1                 | 研修会等参加者数 | 人         | 414          | 499          | 559          | 499          |
| 成果指標2                 |          |           |              |              |              |              |
| 単位コスト指標               |          |           |              |              |              |              |
| 事業費計 (A)              |          | 千円        | 3,761        | 3,639        | 3,683        | 2,164        |
| 正職員人件費 (B)            |          | 千円        | 830          | 806          | 803          | 809          |
|                       |          |           |              |              |              |              |
| <b>総事業費 (A) + (B)</b> |          | <b>千円</b> | <b>4,591</b> | <b>4,445</b> | <b>4,486</b> | <b>2,973</b> |

| 費用内訳 |  |
|------|--|
| 23年度 | 報酬 3,399千円、報償費 144千円、旅費 34千円、需用費 85千円、負担金 補助及び交付金 21千円 |

## 事業を取り巻く環境変化

|        |  |             |  |
|--------|--|-------------|--|
| 事業開始背景 |  | 事業を取り巻く環境変化 | 平成22年度から全国統一学力テストが抽出式に縮小されたが、市内小中全校で実施しているため、結果の分析と学力向上が求められている。また、平成23年度から小学校英語が必修化された。 |
|--------|--|-------------|--|

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

江別市の児童生徒の教育の充実を図るために、専門的研究を行うものであり妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

研究成果を教員等に提供するとともに行政に反映し、教師の指導力の向上等に貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

依頼テーマに関する報告が行政に生かされている。教育に関する調査研究成果が教員へ還元されている

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

当市の教育上の諸課題についての研究成果が提供されている。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

平成19年度より所報の内部印刷による経費節減などを実施済みであり、これ以上のコスト削減は難しい。